



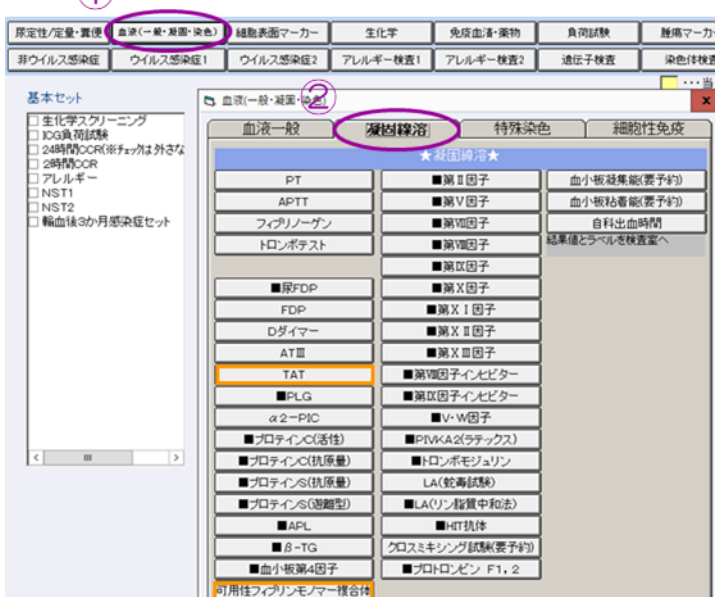
### MENU

1. 日本血栓止血学会の新しいDIC診断基準にTATとSFが含まれています
2. 検体検査ってどうやってやるの? ~血液培養編~
3. 輸血副作用があったか教えてください
4. 臨床からよくある問い合わせ

## 1. 日本血栓止血学会の新しいDIC診断基準に TATとSFが含まれています

DIC（播種性血管内凝固症候群）の診断基準（血栓止血雑誌 2017, 28: 369-391）は、これまでの一般止血検査（血小板数、FDP、フィブリノゲン、プロトロンビン時間比）に加えて、アンチトロンビン（AT）、トロンビン-AT複合体（TAT）および可溶性フィブリンモノマー複合体（SF）の3つの分子マーカーが新たに追加されました。TATとSFは、通常検体の検査項目として院内で測定しておりますのでご活用下さい。

### オーダー方法



① 血液（一般・凝固・染色）

② 凝固線溶のタブ内

TAT

可溶性フィブリンモノマー複合体

お問い合わせ：血液検査室 内線36440

## 2. 検体検査ってどうやってやってるの？ ～血液培養編～

血液培養検査の検体到着、陽性時の検査および結果報告までの流れを紹介します。

### 検体到着・培養

- 提出された血液培養ボトルはすぐに自動分析装置にセットします。
- 最大7日間培養を行います。



提出された血液培養ボトル



血液培養自動分析装置  
BACTEC FX

### 陽性になったら

- グラム染色標本をつくります。
- 平板培地に塗り広げ、24時間培養します。
- 専用の前処理を行い、質量分析装置を用いて菌種同定をします。
- グラム染色と質量分析の結果から同定された菌種を主治医へ迅速に連絡します。



グラム染色(×1,000)



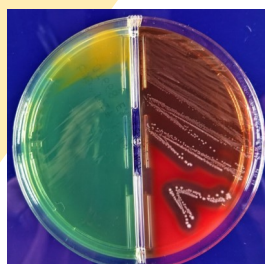
平板培地への塗布



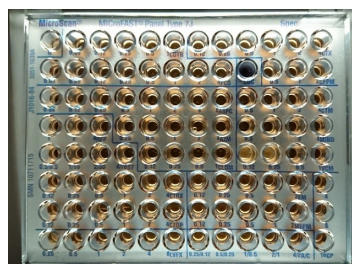
質量分析装置  
MALDI バイオタイパー

### 菌のコロニーができれば

- 平板培地のコロニーから調整した菌液を薬剤感受性判定用パネルに分注し、24時間培養します。培養後、各薬剤に対する感受性を判定し報告します。
- 陽性時から最短で3日での報告が可能ですが、菌種などにより日数がかかる場合があります。



24時間培養後の菌のコロニー



培養後の薬剤感受性判定用パネル

お問い合わせ：細菌検査室 内線36450

### 3. 輸血副作用があったか教えてください

輸血により様々な副作用が起きる可能性があります。蕁麻疹のような軽微なものからアナフィラキシーショックのような重篤なものまで多様です（図1）。そのため、輸血を行う時には患者さんの状態を常に確認し、副作用が発生した際には迅速に処置する必要があります。

厚労省の指針により、輸血副作用の発生状況を輸血療法委員会にて把握する必要があります。副作用が発生した際には、電子カルテシステムへ入力するか（図2）、検査室までご連絡いただきますようお願いいたします。

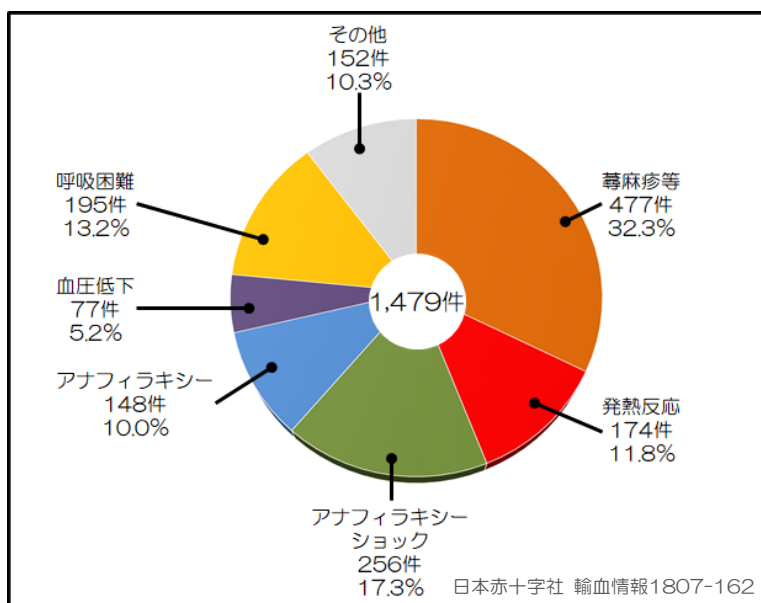


図1. 日本赤十字社に報告された輸血副作用の症状とその件数（2017年）



図2. 電子カルテシステムへの輸血副作用の入力方法

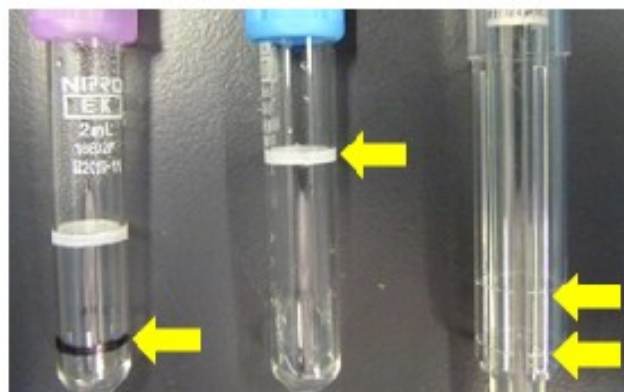
お問い合わせ：輸血検査室 内線36410  
：緊急検査室 内線36360

## 4. 臨床からよくある問い合わせ

今回は血液検査係によくある質問をピックアップしました。解決できなかった方は下記までお問い合わせください。

### Q 検体量足りませんか？

- A** CBCの最小量は0.5mLです。  
凝固検査は採血ラインが規定量です。少なくとも多くても正確な結果が得られません。  
赤沈は上下のラインの間が規定量です。少なくとも多くても正確な結果が得られません。



CBC

凝固

赤沈

### Q 出血時間の検査をお願いします

- A** 検査部では行っていません。検査セットをお渡ししていますので、検査をお願いしています。検査の流れは、「検査オーダー → 検査セットの受け取り → 検査 → 結果用紙にバーコードラベルを貼り、結果記入 → 検査部」となっています。

### Q 髄液検査に含まれている検査項目は何ですか？

- A** 通常検査は、「肉眼的性状、比重、総蛋白、糖、クロール、細胞数（単核球、多核球分類）」の6項目です。緊急検査では、「総蛋白、糖、クロール、細胞数」の4項目となっています。

### Q 緊急のCBCの結果に「要精査」とありますが、何ですか？

- A** 血球数や白血球分画など検査値に何らかの異常があったことを測定機器がお知らせしています。原因を精査するために「通常検査のCBC+血液像（鏡検法）」のオーダーをお勧めします。

お問い合わせ：血液検査室 内線36440

広報委員：古谷大輔、盛合亮介、米澤 仁、蕪澤慎也、小林 亮、田本悠佳